

高規格救急自動車 仕様書

香南市消防本部

高規格救急自動車 仕様書

第1章 総則

1. 目的

この仕様書は、香南市消防本部（以下「当本部」という）が購入する高規格救急自動車（以下「高規格車」という）について、ぎ装及び装備品並びに資機材について必要な事項を定めることを目的とする。

2. 概要

- (1) 本車両は、高規格車として必要な資機材、取付け品及び付属品等装備するほか、この仕様を十分満足し得るよう、ぎ装するものとする。
- (2) 車両及び資機材は、最新型のもので、救急業務遂行時に支障のないものであり、患者及び救急隊員の安全性を十分に確保できるものとする。
- (3) この仕様書の記載事項について、変更しようとするときは、理由書及び図面を付して当本部の承認を得ること。また、疑義が生じたときは、当本部の指示を得ること。

3. 法令等の遵守

高規格車は、次に掲げる法令、その他関係ある法令、通達に適合し、「緊急自動車」として承認が得られるものであること。

- (1) 「道路運送車両法」
- (2) 「道路運送車両の保安基準」
- (3) 「救急業務実施基準」
- (4) 「その他関係法令等」

4. 手続き等

高規格車の発注者の委任を受けた受注者は、行政機関により定められた手続きに従い申請及び許可等を受けなければならない。

5. 提出書類

- (1) 高規格車の製作前に次の書類を提出し当本部の承認を得ること。

ア、高規格車の価格内訳書及びシャーシの主要諸元表	2部
イ、ぎ装外観図（5面図）	2部
ウ、ぎ装内面図（3面図）	2部
エ、電気配線図	2部
オ、作業工程表	2部
- (2) 作業工程に変更が生じた場合は、速やかに工程表を提出し、当本部の承認を得ること
- (3) 完成車納入時に次の書類を製本し提出すること。

ア、最終ぎ装三面図	2部
イ、最終電気配線図	2部
ウ、取扱説明書	2部
エ、改造自動車等審査結果通知書（写）	2部
オ、各主要部品一覧表（製造会社、住所、電話、カタログ）	2部
カ、シャーシの修理基準書	2部
キ、シャーシのパーツリスト	2部
ク、車両写真（4面キャビネット判、文字入り）	2部
ケ、その他、当本部が指示したもの	

6. 検査

高規格車のぎ装製作中及び納入時に、次の検査を実施する。また、検査を受けようとするときは、受注者が当本部あてに当該検査の2週間前までに書面により検査の依頼をすること。

(1) 中間検査

- ア、ぎ装工程表に基づく進捗状況の検査
- イ、仕様書承認図及び協議決定事項に基づく検査
- ウ、組立て板金溶接工作の仕上げ状況検査
- エ、その他、当本部が必要と認める検査

(2) 完成検査

- ア、走行検査
- イ、車体の構造及びぎ装状況の検査
- ウ、中間検査時の協議決定事項及び指示事項に基づく検査
- エ、装備及び資器材等の作動性能の検査
- オ、積載品、装備品の装着架装状況及び品数の確認
- カ、その他、当本部が必要と認める検査

なお、完成検査実施予定日の3週間前までに重量税の全額、新規登録予定日及び車台番号を当本部までに通知すること。

7. 登録

受注者は、当該高規格車を緊急自動車として新規登録を行い、これに必要な諸費用を負担すること。（プレートナンバーは当本部の指定する番号で登録すること）

8. 補則

- (1) 納入後、ぎ装関係について、材質の不良及び製作の不備により生じた故障や破損等については、納入の日から12ヶ月間は受注者がその責任において無償修理するものとする。ただし、メーカーの公表する保障期間が12ヶ月を超える場合はその期間とする。
- (2) 契約締結から納入までの諸経費を含む
※自動車重量税、自賠責保険料（24ヵ月）、検査登録費用、手続き代行費用等、リサイクル預託金等
- (3) 発注者は12ヶ月を経過した後においても、重大な製作上等の瑕疵によって生じた損傷については、受注者と協議のうえ、受注者に無償で修理を行わせることができる。
- (4) 高度管理医療機器（人工呼吸器等）については、適切な運用可能な体制をとれるように、医療機器専用修理業の高知県内登録業者と連携すること。
- (5) 発注者及び受注者両者は、信義を重んじ誠実にこの契約を履行しなければならない。
- (6) 発注者は見積徴収後であっても条件に合わない等の事由が発生した場合には契約を行わないこともできる。

第2章 高規格車の規格及び仕様

高規格車の車両は、最新型のもので車両本体、ぎ装部分に設置並びに積載する電子医療機器及び他の救急業務の実施に必要な機器（以下「業務機器」という）は実施基準及び交付要綱に適合したものとし、かつ、業務機器については、ベース車製造メーカー及びぎ装メーカー（以下「メーカー」という）が車両に取付け、又は積載が可能であることをあわせ、安全性、品質の保証が出来ることを事前に確認したものとする。

1. 車体形状

- (1) 乗車定員は、7名以上とする。
- (2) 車体構造は、本仕様書によりメーカーの標準自動車を一部改造及びぎ装するもので、その構造は振動、衝撃等を十分緩衝できるボディーとし、適当な防音、換気及び保温のための装置を有し、あらゆる走行条件に対して安全で、かつ、安定性を持ったものであること。
- (3) 全有蓋で密閉式構造であること。
- (4) バックドアは、跳ね上げ式とすること。
- (5) 運転室から傷病者室へ、容易に往来できる構造であること。
- (6) 車両本体は最新式のものとする。

2. 車両本体

- (1) 高規格車の車両形式は、次のとおりとする。

形式	ベルリング	3BF-TRH226K
	ニッサン	3BF-CS8E26
	トヨタ	3BF-TRH226S

- (2) 高規格車の主要諸元は次のとおりとする。

型別	高規格型
エンジン	ガソリンエンジン
総排気量	2,400cc以上～2,700cc以下
駆動方式	四輪駆動
変速装置	オートマチック
タイヤ	ラジアルタイヤ4本（ホイール付）
舵取装置	パワーステアリング
全長	5,660mm以下
全幅	2,000mm以下
全高	2,610mm以下
車両総重量	3,300kg以下
付属品	スタッドレスタイヤ4本（純正ホイール付） スペアタイヤ1本（純正ホイール付） ゴム製タイヤチェーン

3. 主要装備品

先進ライト
全方位モニター
デジタルインナーミラー（代替機能があれば可）
クリアランスソナー（代替機能があれば可）
アンチロックブレーキシステム
SRSエアバック（運転席・助手席）
電動格納式ミラー
パワーウインドウ（運転席・助手席）
エアコンディショナー
集中ドアロック（全ドア連動）
イーজークローザー（スライドドア・バックドア）
サンバイザー（運転席・助手席）
マッドガード（全車輪）
デジタル電波時計（傷病者室）
運転席・助手席フロアマット

ドアポケット
ジャッキ
停止表示板 1 個
標準工具
信号灯 (煙管)
キーレスエントリー 4 個
車両盗難防止回路 (シフトロック)
ショックアブソーバー 一式 (揺れを軽減する等の代替機能があれば可)

4. 高規格車取り付け部品、付属装備品、その他資器材
別表 1～16 のとおりとする。

第 3 章 その他の事項

1. 文字等の表示に関すること

(1) 消防本部名

表記名及び具体的な位置等は、詳細仕様書のとおりとする。

(2) 特殊マーク・市章等

表記名及び具体的な位置等は、詳細仕様書のとおりとする。

(3) 対空表示

表記名及び具体的な位置等は、詳細仕様書のとおりとする。

2. その他の表示

(1) 各スイッチ類には、名称及び「入・切」等の表示をすること。

(2) 計器類には、名称を表示すること。

(3) 燃料給油口には、使用燃料の表示をすること。

3. 納期等

(1) 納入期限 令和 8 年 2 月 27 日

(2) 納入場所 高知県香南市赤岡町 2032-2
香南市消防本部

(3) 発注台数 1 台

4. 質疑

仕様書の内容について質疑が生じた場合は、発注者と受注者が協議のうえ、決定するものとする。

詳細仕様書

1. 車外仕様

- (1) 車体は、全有蓋で密閉式構造のものであること。
- (2) 車体後部は、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造のものであること。
- (3) ヘッドランプ（LED）は、先進ライトとすること。
- (4) 消防章（直径150mm）を車両前面フロントグリル中央に設けること。
- (5) フロントバンパー上部左右に赤色点滅灯（LED）を取り付けること。
- (6) バックドア上部左右に赤色点滅灯（LED）を取り付けること。
メーカー標準で、ルーフ上部に360度範囲で赤色点滅灯が装備されている場合はメーカー標準で可とする。
- (7) 車外右側スライドドアの内側にレスキューボックスを設けること。（バール、万能斧、シートベルトカッター、ガラスカッター、ボルトクリッパーを含む）
右側スライドドアの設定が無い場合は、レスキューツールを収納袋にいれ、車内積載とする。
- (8) 車外右側スライドドアの内側に10%減圧弁付酸素ボンベ2本を取り付け、固定バンドを設けること。また、酸素ボンベ設置位置から加湿流量計設置位置までの配管ぎ装を行うこと。
右側スライドドアの設定が無い場合は、左スライドドア側より同様の艤装を施すこと。
- (9) フロントにLEDフォグランプを設けること。
- (10) ルーフサイド左右前部又は左右ドアミラーにウインカー連動点滅式サイドフラッシュランプを設けること。
- (11) 車両の左右、バックドアの赤帯は、再帰性に富んだ反射材を使用すること。
- (12) 左右後輪の前に路肩灯（LED、スモールライト連動、オン/オフスイッチ付）を取り付けること。
- (13) ルーフ前面及びルーフサイド後部の赤色点滅灯はルーフ一体型の大型散光式とし、光源は高輝度LEDとすること。
- (14) バッテリー及びオルタネーターは、救急車に積載、装備しているすべての電装品及び資器材を使用した場合にも必要な電気量を十分確保できる容量のものとし、点検時には、バッテリー本体が確認できるように取り付けること。
- (15) AC100V外部電源入力用コンセントを設けること。コンセントはマグネット式としコードの長さは10m以上で車両後部バンパーまたは車両右側面中央部の適当な位置に取り付けること。
ア、外部電源入力時は、自動的に外部電源が優先される構造とすること。
イ、外部電源入力時に、エンジンスターターが作動しないようにエンジンスターターカット改造をすること。（警報ブザー付の設定がある場合は対応すること。）
ウ、外部電源入力時に、自動的にバッテリー充電ができるよう充電器を設置すること。
エ、外部電源入力時に、救急資器材や救急車内の蛍光灯及びACコンセントが使用できる構造とすること。
- (16) 大型サイドバイザーを両側に取り付けること。
- (17) フロント左側ドアまたはドアミラーに助手席後方確認用の補助ミラーを取り付けること。
- (18) リヤワイパー、リヤミラーを取り付けること。（代替機能があれば可とする。）
- (19) フロントフェンダー左側にアンダーミラーを取り付けること。
- (20) クリアランスソナーを設けること。（代替機能があれば可とする。）
- (21) アルミ縞板をステップ（運転席側、助手席側、スライドドア、リヤステップ）及び立ち面（運転席側、助手席側、スライドドア、リヤバンパー）の可能な範囲に取り付け、スライドドア及びリヤステップには滑り止め防止シートを取り付けること。

- (22) エンジンフードの周りには、断熱材を設けること。
- (23) バックドアの適当な位置に、カラーバックアイカメラを取り付けること。
- (24) ハイマウントストップランプを設けること。
- (25) 音声式後退アラーム（解除スイッチ付）を設けること。
- (26) 電子サイレンスピーカー（50ワット×2）をルーフ又はフロントバンパー内に取り付けるとともに、モーターサイレンを取り付けること。
- (27) 左右フロントドア上部及び左右後側面上部に赤色点滅灯（LED）を取り付けること。メーカー標準で、ルーフ上部に360度範囲で赤色点滅灯が装備されている場合はメーカー標準で可とする。
- (28) バックドア開放時に、後方から容易に確認できるバックドア停止表示灯（散光式警告灯と連動・高輝度点滅機能付）を取り付けること。
- (29) ルーフサイド左右に2灯ずつLED作業灯を設けること。（スイッチ取付位置については当本部と協議すること。）

2. 運転室仕様

- (1) 音声合成装置内蔵の電子サイレンアンプをダッシュボード付近の適当な位置に取り付け、高性能ノイズキャンセリングマイクを備えること。（昭和45年6月10日付、消防防第337号通知の別紙「緊急自動車に備える電子サイレンの概要」に適合するものであること）。
- (2) サイレンは運転操作に連動して、点滅パターンが変化するものであること。
- (3) サイレン音切り替えスイッチ（ウー音）「直進」「交差」メッセージスイッチを助手席及び運転席側に取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (4) 機関員がハンドルから手を離さず、安全にサイレン切替や音声メッセージ再生を可能とするスイッチを設けること。設定がスイッチ一つの場合はハンドル回りなど、可能な限りの対応を行うこと。（別途協議）
- (5) 右左折メッセージのメインスイッチをメインパネル付近に取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (6) フレキシブルマイクロホンスイッチを運転席側に取り付けること。
- (7) 運転席右側上部にフレキシブルマイクロホンを設け、走行中にハンドフリーでマイク拡声ができること。
- (8) キャビン内の適当な位置に、車載用常時録画式ドライブレコーダーを設置すること。
- (9) 運転席・助手席シートには、透明のビニールシートまたは合皮防汚シートを貼ること。
- (10) 運転席後部へ地図入れを取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (11) 助手席上部にLED灯を取り付けること。また、適当な位置にフレキシブルタイプのLEDマップランプを取り付けること。
- (12) 各種電装関係スイッチは、運転席と助手席の間のインストルメントパネル付近に集中配置し、容易に操作できる構造とすること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (13) 運転席側後面上部に、バネ付きC型フックを2個取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (14) 助手席と傷病者室の間にパーティションボードを設け、助手席側後面上部にバネ付きC型フックを1個取り付けること。（フックの取付位置については当本部と協議すること。）
- (15) 電流・電圧計（照明付き）を視認性のよい場所に取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）

- (16) インストルメントパネルにメモリー容量が8ギガバイト以上のSDナビゲーションシステム（地上デジタル放送対応）及び後方視認用カメラ兼用液晶カラーモニターを設けること。また、シフトレバーを「R」にセットした際に、後方視認用カメラが連動し自動的に映像を映し出すこと。（後方映像が別の位置から出力すれば可とする。）
- (17) ノイズフィルターを設けること。
- (18) 運転室内天井左右にルーフネットを設けること。
- (19) 車両後方のカメラ映像を映し出すデジタルインナーミラー（傷病者室も映せる切替え式）を取り付けること。（代替機能があれば可とする。）
- (20) 全方位モニターを取り付けること。

3. 傷病者室仕様

- (1) 電動ストレッチャー架台は左右スライド機構を有するモデルか、電動で車内に引き上げができる機構を有するモデルとする。
- (2) 電動ストレッチャーのバッテリーは2個付属させること。
- (3) ストレッチャーの仕様は次のとおりとする。（最新式のものとする。）
 - ア、主要構造部は、アルミニウム合金製とすること。
 - イ、担架部分は、電動油圧機構により昇降すること。
 - ウ、高さは無段階に調整可能であること。
 - エ、車両に固定された状態で、バッテリーを取り外すことなく固定装置から充電可能な機構を有すること。
 - オ、バックレストは、空気圧式バンパ等により無段階の角度調整ができるものとし、最大角度は70度以上とすること。
 - カ、担架部分の両側には、可倒式のサイドアーム（落下防止用の柵）を設けること。
 - キ、傷病者用枕、マットレスを設け、傷病者固定ベルトを取り付けること。また、輸液用のガードル架を設置できる構造とすること。
- (4) 傷病者室左側に1人掛け前向きシート（3点シートベルト付）と2人掛け横向きシート（2点シートベルト付）を設けること。1人掛け前向きシートは跳ね上げ式でハイバックシートとし、背もたれが倒れる構造とすること。2人掛け横向きシートは跳ね上げ式で下部に収納庫を設けること。なお、跳ね上げた際にはロックが掛かる、又はベルト等で固定ができるように施すこと。
3席とも跳ね上げ式独立席を採用する場合は座席下部には2L酸素ボンベ、消火器を収納できる構造とし、全座席の向き斜め45度、前向き90度へ変更できる仕様とする。
- (5) 傷病者室右側に1人掛けメディカルシートを取り付け、跳ね上げ式とすること。また、シート下又は脇にダストボックスを搭載すること。
- (6) 適当な位置にA4サイズホワイトボード（本体脱着式）を取り付けること。
- (7) 傷病者室天井にアシストバーを取り付けること。（取付位置、取付数については当本部と協議すること。）
- (8) 傷病者室天井2カ所以上にルーフネットを取り付けること。ただし、アシストバーに干渉しない位置とすること。
- (9) 運転席と傷病者室の間に縦型収納庫（固定ベルト3本付、脱着可能棚板3段）を設け、バネ付きC型フックを3個取り付けること。（収納庫の仕様詳細、フックの取付位置については当本部と協議すること。）
- (10) 傷病者室天井両側面及び右側面にアクリル扉付収納庫を7カ所以上、引き出し式収納庫を2カ所以上設け、開放時にストレッチャーに干渉しない位置、構造とすること。
- (11) 傷病者室右側にバネ付きC型フックを5個取り付けること。なお、レール式で位置移動が可能な構造とすること。

- (12) 傷病者室天井及び右側面の適当な位置に、輸液ビン固定装置を3カ所以上取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (13) 傷病者室右側面の適当な位置にデジタル式電波時計（自動車用耐震）を取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (14) 助手席と傷病者室の間のパーティションボードの傷病者室側に、胸骨圧迫デバイス（コーパルス CPR）収納庫を設けること。
- (15) 傷病者室の適当な位置に、オゾン式UVエアクリン（可搬型）を搭載すること。また、傷病者室天井部に換気扇を設けること。（同等以上の機能を有するものであれば可とする。）
- (16) 定置型吸引器・吸引ポンプ・吸引カテーテル保持パイプを取り付けること。
- (17) 電動ストレッチャー架台と運転席側壁面の間に、ハイテクバックボードモデル2010（ファーン社製）、スクープストレッチャー（モデル65EXL）の固定装置付収納庫を設けること。
- (18) 傷病者室右側壁面上部の適当な位置に、二連式加湿酸素流量計オキシパックOX-III Sを取り付けること。また、その付近に酸素マスク収納トレイを取り付けること。
- (19) 傷病者室右側壁面中段の適当な位置に、輸液ポンプが固定できるポールを設置すること。
- (20) 自動体外式除細動器、傷病者モニター、輸液ポンプ、電動式吸引器、人工呼吸器の取り付け装置を設けること。（すべての一次側配線工事を含む。）取り付け位置は当本部と協議すること。
- (21) 車両に積載する救急資器材のうち、電源を必要とする機器が機能を十分に発揮できるよう次のコンセント設備を設けること。
 - ア、AC100ボルト出力コネクタ 10口以上
 - イ、正弦波300W以上のインバーター
 - ウ、外部電源入力用のAC及びDC電源自動切替装置
 - エ、全自動電子バッテリー管理装置
- (22) 床面は耐久性、耐水性に優れたものであること。また、電動ストレッチャー架台及び床に接する全てのぎ装部分にも防水処理等を施すこと。
- (23) 傷病者室内の照明は、傷病者の症状及び救急隊員の業務遂行に支障のない照度を有するものであって、傷病者室天井部に調光式大型室内灯4灯以上（LED等・保護カバー付）と処置の際、手元を照らす調光式または各灯ON/OFFスイッチ付の患者灯2灯以上（照射位置変更可能なもの）及びバックドア上部にスポットランプ1灯（照射位置変更可能なもの）を設置すること。
- (24) 傷病者室に面するガラスはすべて、プライバシー保護仕様とすること。なお、左側面ガラス下1/2及びリアガラス下1/2は、くもりフィルムを貼付けし、くもりガラス処理を施すこと。左側面ガラス上1/2及び、リアガラス上1/2は調光フィルムを貼付けし、スイッチを操作することで「透明⇄くもり」の切り替えができる構造とすること。（調光フィルムの操作は、左側面とリアガラスで別スイッチ）
- (25) 消火器（車載用）を適当な位置に取り付けること。
- (26) 救急救命用資機材を収納する各キャビネット、引き出しボックス等は、走行中の振動等で開閉し、飛び出すことのないような構造とし、かつ収容物を傷つけない構造とすること。
- (27) 傷病者室天井シートについては、天蓋上に取り付けたアンテナ、赤色回転灯等の結線部分の点検等が容易にできるようにすること。
- (28) バックドアからの乗り降りをアシストする、大型アシストグリップを設置すること。
- (29) 傷病者室の適当な位置にスイッチパネルを取り付け、各種電装関係スイッチ（蛍光灯・患者灯調光器・調光フィルムを含む）を集中配置し、容易に操作できる構造とすること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (30) ドア開閉の補助にバックドアストラップを取り付けること。

4. 救急車内カメラシステムについて

当本部担当者及び当本部が指定する業者と連絡を密にし、十分確認のうえ、適正に使用できるように設置すること。

5. 無線設備について

車載端末装置及び無線設備の移設に当たっては、当本部が指定する業者と連絡を密にし、十分確認のうえ、適正に使用できるように設置すること。

本装置は、更新元車両から取り外して移設するものとし、当本部と協議のうえ、指定した位置に取り付け、各配線は雑音混入防止策及び保護等を考慮し、保護管付同軸ケーブルで内張りを通し、露出しない構造にするとともに、要所ごとに点検口を設けることとする。

- (1) 車両積載用無線機の構成は、富士通ゼネラル製消防救急デジタル無線機（ハンドセット×2）とし、無線機本体は、運転席付近に運転者の視界を妨げないよう台座、架台等を用いて一体となるよう取り付け、主電源のスイッチ（ON・OFF・ACC）は運転席から操作できる至便な位置に取り付けるものとし、取り付け位置は当本部と協議するものとする。
- (2) 無線障害を防止するため、必要な箇所にアースボンディングを行うこと。
- (3) 電源のバッテリー側にヒューズ、ヒューズブルリンク等を取り付けること。
- (4) 無線機用送受話器を運転席及び助手席から取り出せる位置に1カ所、傷病者室の至便な位置に1カ所取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (5) 無線用スピーカーは埋め込み型とし、運転席天井に1カ所、傷病者室に1カ所、適当な位置に取り付けること。また、ON・OFF及び音量調節のスイッチを至便な位置に取り付けること。（取付位置については当本部と協議すること。）
- (6) デジタル無線アンテナ及びデジタル無線アンテナ用のマウントを、ルーフ上の2カ所（1200mm以上の間隔）に取り付けるものとする。また、アナログ無線アンテナ（防災相互波用）及びアナログ無線アンテナ用のマウントをルーフ上の1カ所に取り付け、必要に応じて車内天井の内張りに点検口を設けるものとする。

6. 記入文字及び消防章マーク

(1) 両側面

- | | |
|-------|-------------------------|
| ア、色 等 | 青色、丸ゴシック体、1文字概ね12cm角サイズ |
| イ、文字 | 香南市消防本部・香南救急1（別途協議） |
| ウ、書き方 | 左側から記入し、消防章マークは前部とする |

(2) バックドア

- | | |
|-------|------------------------------|
| ア、色 等 | 青色、丸ゴシック体、バックドアの大きさに見合う文字サイズ |
| イ、文字 | 香南市消防本部（別途協議） |
| ウ、書き方 | 左側から記入し、消防章マークは無し |

(3) ルーフサイド、両側面中央部付近

- | | |
|-------|--|
| ア、色 等 | 色、デザイン（別途協議）、ルーフサイド（両面）はLED作業灯の間に見合うサイズ、両側面中央部上部付近はルーフサイドのサイズに合わせる |
| イ、文字 | KONAN FIRE DEPT. |
| ウ、書き方 | 左側から記入し、救急マーク（STAR OF LIFE）は後部側とする |

(4) ルーフ (対空表示)

- ア、色 等 黒色、丸ゴシック体、ルーフスペースを最大に利用した文字サイズ
イ、文 字 香南救急1 (別途協議)
ウ、書き方 左側から記入 (二段横書き)

(5) 両側面タイヤハウス後部

- ア、色 等 黒色、丸ゴシック体、スペースを最大に利用した文字サイズ
イ、文 字 一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構
ウ、書き方 左側から記入し、角枠で文字を囲む

7. その他

- (1) 運転室、傷病者室に高規格車専用の冷暖房装置を設置すること。
(冷暖房の操作は、運転席及び傷病者室の両方から操作可能とすること)
- (2) 高規格車内の適当な位置にライフボールを搭載すること。
- (3) 運転席及び傷病者室の各スイッチ類は可能な限り集中させること。
- (4) 誤発進防止装置などの先進機能を施すものとする。
- (5) 本仕様書になくとも、メーカーの公表した仕様及びぎ装 (標準装備) は当然施すものとする。
- (6) 本仕様書及び資器材仕様書に記載の装備品又は資機材はそれぞれについてその名称品に限った物でなく、その名称品又は同等品以上の物とすること。
尚、同等品を使用する場合には、「同等品確認願」にカタログ等、性能及び詳細を明示した書類を6月4日17時までにメールにて提出すること。確認願いの回答については6月6日17時までにメールで回答します。

高規格救急車別表

別表1	車両装備		単位	数量	備考
	1	シャーシ	式	1	
別表2	車両装備		単位	数量	備考
	1	フロント消防マーク 直径150mm、樹脂製	式	1	
	2	LEDヘッドランプ	式	1	先進ライト
	3	フロントフォグランプ	式	1	LED
	4	サイドフラッシャーランプ	式	1	
	5	LED路肩灯(メインスイッチ付)	式	1	
	6	ルーフサイド左右LED作業灯(4灯)	式	1	
	7	ハイマウントストップランプ	式	1	
	8	フロントアンダーミラー	式	1	
	9	助手席アウトサイドミラー	式	1	
	10	フロントドアサイドバイザー	式	1	
	11	リヤミラー	式	1	
	12	リヤワイパー	式	1	
	13	エンジンフード周り断熱材処理	式	1	
	14	再帰性に富んだ反射材(赤) ※前面を除く3面	式	1	
	15	収納BOX(レスキューセット5点付)	式	1	
	16	アルミ縞板取付 3ヶ所(左右フロント・サイド・リアドアステップ立ち面)	式	1	
	17	滑り止め防止シート(サイド・リヤステップ)	式	1	
	18	くもりガラス・プライバシーガラス	式	1	左右、後
	19	外部電源入力用コンセント ケーブル10m付	式	1	
	20	音声式後退アラーム	式	1	
	21	クリアランスソナー	式	1	
	22	バックアイカメラ(カラー)	式	1	
	23	バックドア停止表示灯(LED)	式	1	
	24	消火器	式	1	
別表3	警告装置		単位	数量	備考
	1	ルーフ一体散光式警光灯(フロント)	式	1	
	2	ルーフ一体散光式警光灯(リヤ)	式	1	
	3	赤色LED点滅灯(フロントバンパー×2)	式	1	
	4	赤色LED点滅灯(側面前後上部×計4)	式	1	
	5	赤色LED点滅灯(バックドア上部×2)	式	1	
	6	サイレンアンプ(スピーカー含む)	式	1	
	7	モーターサイレン(スピーカー含む)	式	1	
	8	専用マイク(メインパネル)	式	1	
	9	音声合成装置及びスイッチ等	式	1	
		サイレン音「ウー音」プッシュスイッチ取付(運転席)	式	1	取付位置は当本部と協議
		サイレン音「ウー音」プッシュスイッチ取付(メインパネル)	式	1	取付位置はメインパネル付近
		音声メッセージ「直進」スイッチ取付(運転席)	式	1	取付位置は当本部と協議
		音声メッセージ「交差」スイッチ取付(運転席)	式	1	取付位置は当本部と協議
		右左折メッセージメインスイッチ取付(メインパネル)	式	1	取付位置はメインパネル付近
		音声メッセージ「直進」スイッチ取付(メインパネル)	式	1	取付位置はメインパネル付近
	音声メッセージ「交差」スイッチ取付(メインパネル)	式	1	取付位置はメインパネル付近	
別表4	運転室内装備		単位	数量	備考
	1	上部ルーフネット(運転席・助手席)	式	1	
	2	電流・電圧計(照明付)	式	1	
	3	ドライブレコーダー	式	1	
	4	ビニールシート(運転席・助手席)加工	式	1	または合皮防汚カバー

	5	フレキシブルマイクロホン及びスイッチ取付 (運転席)	式	1	取付位置は運転席付近	
	6	地図入れ (運転席後部)	式	1	取付位置は当本部と協議	
	7	LED灯 (助手席)	式	1	助手席上部	
	8	LEDマップランプ (フレキシブルタイプ)	式	1		
	9	バネ付きC型フック (運転席2、助手席1)	式	1	取付位置は当本部と協議	
	10	デジタルインナーミラー	式	1	代替機能があれば可とする	
	11	全方位モニター	式	1		
	12	ナビゲーションシステム	式	1		
別表5	傷病者室収納関係装備			単位	数量	備 考
	1	メディカルシート (跳ね上げ式)	式	1		
	2	前向き一人掛けシート (ハイバックシート)	式	1		
	3	二人掛け横向きシート (下部収納庫付)	式	1	または全席座面跳ね上げ式独立席	
	4	天井ルーフネット	式	1	2カ所以上	
	5	定置型吸引器・吸引ポンプ・吸引カテーテル保持パイプ	式	1		
	6	各種収納庫等	式	1		
		ルーフサイドアクリル扉付収納庫右前	式	1		
		ルーフサイドアクリル扉付収納庫左前	式	1		
		ルーフサイドアクリル扉付収納庫左後	式	1		
		スライド式アクリル扉付収納庫A	式	1		
		引き出し式収納庫 (内部緩衝材付)	式	1		
		縦型収納庫 (脱着可能棚板3段)	式	1		
		胸骨圧迫デバイス収納庫	式	1		
		酸素マスク収納トレイ	式	1		
		バックボード・スクープストレッチャー収納庫及び固定装置	式	1		
	9.4%酸素ボンベ固定装置	式	1			
別表6	その他の傷病者室内装備			単位	数量	備 考
	1	ダストボックス	式	1		
	2	ホワイトボード (A4サイズ)	式	1		
	3	アシストグリップ (天井・右側)	式	1	2カ所	
	4	バネ付きC型フック (右側レール部分5個・縦型収納庫部3個)	式	1	取付位置は当本部と協議	
	5	換気扇	式	1		
	6	デジタル式電波時計	式	1	取付位置は当本部と協議	
	7	二連式加湿酸素流量計オキシバックOX-III Sヨークバルブ仕様取付含む	式	1		
	8	酸素ボンベ収納庫上レール	式	1		
	9	床面防水処理	式	1		
	10	調光式大型室内灯 (LED等・保護カバー付)	式	1		
	11	患者灯 (照射位置変更可能)	式	1		
	12	傷病者室スイッチパネル (室内警光灯・調光フィルム)	式	1		
	13	コーケン 人工呼吸器 固定装置取付	式	1		
	14	3電源式吸引器 パワーミニックII取付及び専用充電ブラケット	式	1		
	15	オゾンUVエアクリア可搬型 (ACアダプター)	式	1		
	16	日本光電 BSM-3562 固定装置取付	式	1		
	17	光電 半自動除細動器 TEC-2603 低台座取付	式	1	取付位置は当本部と協議	
	18	記録器 WS-261V	個	1	取付位置は当本部と協議	
	19	輸液ポンプ 汎用メディカルボール取付	式	1		
	20	輸液ビン固定装置 (脱落防止装置付) 取付	式	1	天井1カ所、右側2ヶ所	
	21	調光フィルム「透明⇄くもり」切替可 (左側面ガラス上1/2、リアガラス上1/2)	式	1		
	22	バックドアスポットランプ	式	1		
	23	大型アシストグリップ (バックドア乗り降り用)	式	1		
	24	酸素ボンベ固定装置改造	式	1		

	25	バックドアストラップ	式	1	
別表7	搬送用装備		単位	数量	備考
	1	電動ストレッチャーPower-PR02またはTG-1000	式	1	
		マット	式	1	
		身体固定ベルト一式	式	1	
		点滴スタンド	個	1	
		バッテリー	個	2	
		充電器	式	1	
別表8	電装		単位	数量	備考
	1	AC100Vコンセント10口以上取付	式	1	AC100Vのみの場合は14口以上とする。
	2	AC100V電源自動切換改造	式	1	
	3	DC12V電源自動切換改造 電話、蛍光灯、吸引器、ME	式	1	
	4	インバーター正弦波500W以上	式	1	
	5	全自動電子バッテリー管理器	式	1	
別表9	通信用装備		単位	数量	備考
	1	無線移設	式	1	取付位置は当本部と協議
	2	車内カメラシステム移設	式	1	取付位置は当本部と協議
	3	傷病者室内無線モニター用スピーカー	式	1	取付位置は当本部と協議
	4	運転室内無線モニター用スピーカー	式	1	取付位置は当本部と協議
	5	無線子機用6芯1本通線	式	1	埋め込み式
	6	無線機取付用金具	式	1	埋め込み式
	7	無線アンテナ点検口2ヶ所増設+5D2V*2本通線	式	1	
	8	アースボンディング	式	1	
別表10	その他付属品等		単位	数量	備考
	1	スペアタイヤ（純正ホイール付き）	本	1	
	2	スタッドレスタイヤ（純正ホイール付き）	本	4	アルミホイール可
	3	ゴム製タイヤチェーン（イエティ・スノーネット：コイズミ）	式	1	
	4	マッドガード（全車輪）	式	1	
	5	フロアマット（運転席・助手席）	式	1	
	6	ジャッキ	式	1	
	7	標準工具	式	1	
	8	停止表示板	式	1	
	9	信号灯（煙管）	式	1	
	10	キーレスエントリー	個	2	
	11	予備キー（キーレスエントリー）	個	2	
	12	誤発進防止装置・エンジンスターターカット改造（警報付・インジケーター付）	式	1	
	13	自動膨張式救命具（ライフボール）	式	1	
	14	ウェルバス収納庫	式	1	
	15	車両盗難防止回路（シフトロック）	式	1	
	16	車体文字入れ	式	1	
別表11	登録手続代行費用等		単位	数量	備考
	1	新規登録費用及び改造申請及び承認図作成（管理費含む）	式	1	課税
別表12	その他の医療資機材		単位	数量	備考
	1	酸素ボンベ（9.4ℓ）ヨーク型バルブ仕様	本	2	
	2	酸素ボンベ（2ℓ）	本	2	
	3	ファーノ 酸素吸入器 インハレーター2 モデル301J	個	1	
	4	ファーノ スクープストレッチャー モデル65EXL（ピン・イモビ付）	式	1	
	5	ファーノ ハイテクバックボード イモビ、ベルト付	式	1	
	6	ファーノ レインカバー	枚	1	
	7	ファーノ XT	式	1	

	8	救急バッグ（呼吸管理用：ジャンプキットバック WJK-S）	個	1	
	9	救急バッグ（静脈路確保用：ファーストレスポonderバッグ A-900）	個	1	
	10	救急バッグ（外傷用：エクストリームEB02）	個	1	
	11	オキシゲン・バックバック300型	個	1	
	12	NWストレッチャー	枚	10	足袋付布担架
	13	ワンハンド電子血圧計 レジーナⅢ KM-370Ⅲ	個	1	
	14	体温連続モニタリングシステム TEMPLE TOUCH PRO	式	1	中枢温を連続測定
	15	電子体温計C206	個	1	
	16	聴診器 リットマンMaster Cardiology ブラック	個	1	
	17	聴診器 リットマンクラシックⅡステソコープ（新生児用）	個	1	
	18	聴診器用アタッチメントSTETHOUNG	個	3	
	19	サムスプリント（スタンダード、ジュニア、ラージ）各1個	式	3	
	20	ディスプレイグローブ固定装置	個	5	
	21	吸引カテーテル予備収納袋	個	1	
	22	事故防止 留置針（24G, 22G, 20G）各50本	箱	3	
別表13	高度救命資機材（気道確保用資機材）		単位	数量	備 考
	1	コーケン 人工呼吸器 アンサーディスプレイ回路含む	式	1	
	2	メディマット・イージー・CPR ライトキャリングセット	式	1	
	3	3電源式吸引器 パワーミニックⅡ	式	1	
	4	手動式吸引器 緊急用アスピレーター WEA-2（カテーテル、メッシュフィルター付）	式	1	
	5	HEINE LEDショートタイプ 喉頭鏡ハドル イージークリーン	式	1	
	6	アンプ 蘇生バックシリコン製オーバルプラス、酸素付（成人用）	組	1	
	7	アンプ 蘇生バックシリコン製オーバルプラス、酸素付（小児用）	組	1	
	8	手動式人工蘇生器 レールダルシリコンレサシテーター（新生児用収納バック入）	組	1	
	9	クーフフェイスマスク（成人用大、中、小、小児用、乳児用、新生児用）各10個	箱	6	
	10	ドレーゲル フィルター付き人工鼻	箱	1	
	11	マギール鉗子（大・小）各1本	本	2	
	12	ソフトシールカフ付気管内チューブ（7mm・8mm）各10本	箱	2	
	13	ラリングルチューブ サクションLTS（0号, 1号, 2号, 3号, 4号, 5号）各10本	箱	6	
	14	トーマスセレクトチューブホルダー	箱	1	
別表14	高度救命資機材（心電図モニター用資機材）		単位	数量	備 考
	1	日本光電 BSM-3562（標準付属品含む）	式	1	
	2	日本光電 12誘導解析ソフト QP-031P	式	1	
	3	日本光電 心電図誘導コード 10電極 BJ-900P	本	1	
	4	日本光電 SpO2フィンガープローブ TL201T	本	1	
	5	日本光電 SpO2マルチプローブ	個	2	
	6	日本光電 電極	箱	10	
	7	パルスオキシ・カブノメータCMS50D-BLU	個	1	
別表15	高度救命資機材（除細動用資機材）		単位	数量	備 考
	1	光電 半自動除細動器 TEC-2603	個	1	既存品載せ替え
	2	光電 除細動器用 CO2キットTG-900P	式	1	既存品載せ替え
	3	光電 CO2エアウェアタブ50個入り YG-101T	箱	1	既存品載せ替え
	4	光電 TEC用 SDメモリカード QM-002D	枚	1	既存品載せ替え
	5	光電 TEC2513用 テストロードAX-250V	式	1	既存品載せ替え
	6	光電 除細動器レポート表示ソフトウェア QP-551V	式	1	既存品載せ替え
	7	光電 SB220V用 バッテリーチャージャ SB-205V	式	1	既存品載せ替え
	8	光電 リチウムイオンバッテリー SB-220V X233	個	1	既存品載せ替え
	9	光電 除細動用パドル	式	1	既存品載せ替え
	10	光電 TEC-2600用 記録器 WS-261V	個	1	
	11	CPRアシスト CPR-1100 追加シート、クッション付	個	1	

別表16	高度救命資機材（自動胸骨圧迫器具）		単位	数量	備 考
	1	コーパルスCPR（電動式心肺人工蘇生器）	式	1	
	2	外部充電器	個	1	
別表17	登録手続代行費用等		単位	数量	備 考
	1	自賠償保険・リサイクル料金・重量税	式	1	非課税